



2015年10月16日
株式会社東武ホテルマネジメント
ユーシーカード株式会社

～訪日外国人向けサービス～

東武ホテル、全店舗へ「多通貨決済サービス（DCC）」及び
「銀聯カード」の取扱いを拡充

株式会社東武ホテルマネジメント（以下、東武ホテル 本社：東京都墨田区 代表取締役社長：重田 敦史）は、みずほフィナンシャルグループの一員であるユーシーカード株式会社（以下、UC カード 本社：東京都港区 代表取締役社長：樋口 一成）と提携し、海外のカードホルダーがカード決済時に自国通貨を選択できる「多通貨決済サービス（DCC:Dynamic Currency Conversion）」及び、中国の銀行カード組織である中国銀聯が発行する「銀聯カード」の取り扱いを、東武ホテル全7店舗へ拡大いたしました。

東武ホテルでは、昨今の訪日外国人の増加を受け、訪日外国人向けサービスの拡充を図ってまいりました。海外の旅行会社等との連携を深めることにより、コートヤード・マリオット銀座東武ホテルや東武ホテルレバント東京においては訪日外国人客が大幅に増加しています。2015年3月には、成田東武ホテルエアポートの一部客室をインバウンドのニーズに合わせてリニューアルしました。

一部の東武ホテルでは従来より DCC サービス及び銀聯カードを取り扱っておりましたが、今般、東武ホテル全7店舗へ同サービスを拡充することで、お越しいただいたお客さまの更なる利便性の向上を図ることといたしました。フロント（宿泊）、レストラン、宴会等、同ホテル内で行われる決済において、DCC サービス及び銀聯カードが10月16日より順次ご利用いただけます。

UC カードは2009年に日本で初めて DCC ビジネスに参入し、国内 DCC アクワイアラとして最大の30種類の通貨対応、また、日本で唯一、複数メーカーの端末を供給できる体制を整え、業界を先導しています。さらに、機能面にとどまらず、外国人向けのサービスガイドを複数言語で作成する等、加盟店さまにとっても、カードホルダーの方にとっても、DCC が使いやすいものになるよう、長年のノウハウを活かし、常にサービス向上に取り組んでおります。

また、銀聯と提携の上、銀聯カードの加盟店開拓を行い、現在5万加盟店まで拡大しております。今後も様々な業種での加盟店開拓を強化し、銀聯カードが使用できる環境の整備とお客さまの利便性向上に貢献してまいります。

■導入済店舗

- | | |
|----------------------|----------|
| ・コートヤード・マリオット銀座東武ホテル | ・高輪東武ホテル |
| ・東武ホテルレバント東京 | ・渋谷東武ホテル |
| ・成田東武ホテルエアポート | ・川越東武ホテル |
| ・宇都宮東武ホテルグランデ | |

■DCCとは

DCCとは、海外でカード決済を行った際、「現地通貨」と「カードホルダーの自国通貨」の内、どちらで決済するかを選択できるサービスです。通常、訪日外国人のお客さまが自国（海外）で発行されたクレジットカードを日本で利用する場合、ご利用時には円建てで決済します。その後、カード発行会社が定める為替レートにて自国通貨へ換算された決済額がお客さまに通知され、利用額を支払います。DCCに対応したクレジットカード決済端末を使用すると、カードご利用時に自国通貨での支払金額がお客さまへ提示され、通常通りの円建て決済と、自国通貨決済の内、どちらかを選択できるようになります。自国通貨決済を選んだ場合、為替レートの変動リスクを心配することなく、安心して決済いただけることが特徴です。

《東武ホテルにおける、DCCの取扱い通貨》（29通貨）

台湾（ドル）	アメリカ合衆国（ドル）	欧州連合（ユーロ）
オーストラリア（ドル）	香港（ドル）	シンガポール（ドル）
タイ（バーツ）	韓国（ドル）	中国（人民元）
マカオ（パタカ）	マレーシア（リンギット）	フィリピン（ペソ）
インドネシア（ルピア）	ベトナム（ドン）	インド（ルピー）
スリランカ（ルピー）	カナダ（ドル）	アルゼンチン（ペソ）
ブラジル（リアル）	イギリス（ポンド）	スイス（フラン）
デンマーク（クローネ）	ノルウェー（クローネ）	スウェーデン（クローナ）
ロシア（ルーブル）	サウジアラビア（リヤル）	UAE（ディルハム）
カタール（リヤル）	ニュージーランド（ドル）	南アフリカ共和国（ランド）

※韓国は米ドル建てで為替対応を行います

■銀聯とは

2002年に中国人民銀行が中心となって設立された、中国での銀行間決済ネットワークを運営する国際ブランドです。銀聯カードは全世界で50億枚発行されており、その取扱高も780兆円と、国際ブランドの中での位置づけは急速に高まっております。アジアではVisa・MasterCardを超える会員数・売上高に成長しています。日本国内における中国銀聯の売上も大幅に増加しており、2015年2月の春節（中国の旧正月）には多くの中国人観光客が日本で銀聯カードを使用し、その利用額は600億円に達しました。